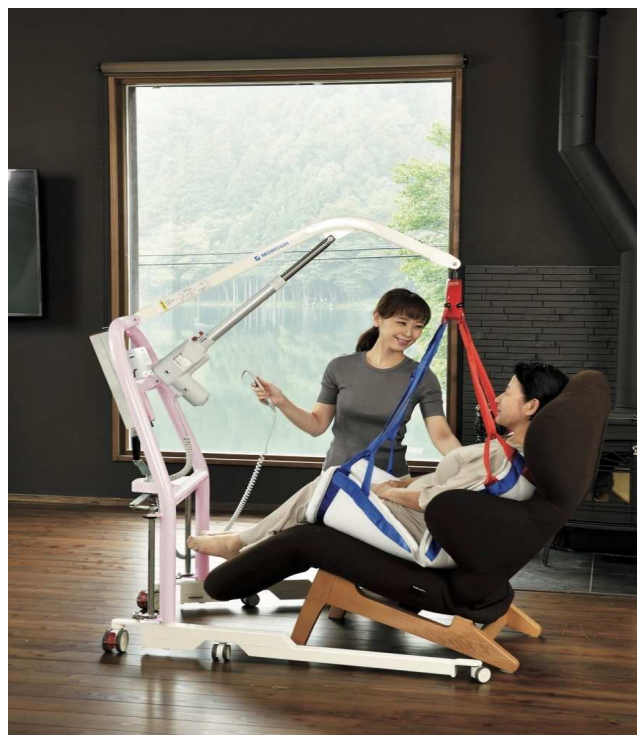


取扱説明書

床走行式リフト
Y6セット Li-PINK Safety Robo



この度は、「介護リフトつるべーY6セット Li-PINK Safety Robo」をご購入いただきまして誠にありがとうございます。「介護リフトつるべー」を安全にご使用いただくために、この取扱説明書を必ずお読みください。なお、使用方法に関しましては、基本的な事項に重点を置きましたので、それぞれの状況に応じた使用方法については専門家にご相談ください。



安・楽・満
株式会社 **モリト**
MORITOH



※お買い上げの製品は機器の仕様変更により、取扱説明書の内容が一部異なる場合があります。

もくじ

	ページ
I 安全上のご注意	2
II 使用上のご注意	3.4
III 各部の名称と組立方法	5~9
IV リフトの使用方法	10
・ ベッドからの移乗	10
・ ベッドへの移乗	10
・ 床からの移乗	10
・ 床への移乗	10
V 電装品の使い方	11
1. スイッチの使い方	11
2. コントローラーの使い方	11.12
3. 充電器について	12
4. モーターについて	12
クイックリリース（手動下降装置）	
VI 吊り具の掛け忘れ確認装置（音声ガイド）	13
VII 仕様	14
VIII 困ったときは	15
IX 日常のお手入れと保管上の注意	15
XI 定期点検	16
XII 保証書	17

I 安全上のご注意

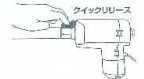
安全にご使用していただくために、安全上・取扱上の重要なポイントについては安全表示ラベルを本機に貼付しています。また安全表示ラベルとともに取扱説明書に示した表示と表示内容は次のようになっています。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性がある内容を記載しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生する内容を記載しています。

安全表示ラベルについて

- 本機には、安全にご使用いただくために安全表示ラベルが貼付してあります。必ずお読みいただき、これらの注意・警告に従ってください。
- 安全表示ラベルが破損したり、なくなった場合または、読めなくなった場合は新しいラベルに貼り直してください。
- 安全表示ラベルは、お買い上げいただいた販売店に注文してください。



注意	リフトが途中で止まってしまった場合は①②③の順に対応してください。	① バッテリーを取り出し、再度装着して、緑色ランプが点灯するか確認してください。(やり方はバッテリーのラベルにあります)	
		② 緑色ランプが点灯していても動かない場合はコントローラーの下降ボタンで操作してください。	③ レバー(赤)を矢印の方向に引いている間下降します。 ※アームに荷重がかかっていない状態では降下しません。



緊急停止ボタン(赤色のボタンを上から押す)

←【緊急停止ボタンの解除方法】→

左右の丸型ボタンを同時に押ししてください。
バッテリーが外れて、緊急停止が解除されます。使用するには、バッテリーを再度取り付けてください。



- リフトの操作は、アームやハンガー・モーターを持って移動させないでください。リフトが転倒して死亡または重傷を負う可能性があります。
- 段差のあるところでは使用しないでください。リフトが転倒して死亡または重傷を負う可能性があります。
- 傾斜のあるところでは使用しないでください。思わぬ方向へ移動し、転倒や衝突により、死亡または重傷を負う可能性があります。
- リフトをベッドに差し込んだまま、ベッドの高さ調整などの操作はしないでください。ベッドとハンガーの間に挟まれて、死亡または重傷を負う可能性があります。
- 昇降中はリフトのキャスターのロックをかけないでください。キャスターをロックした状態で昇降操作を行うと重心が偏り、リフトが転倒して死亡または重傷を負う可能性があります。

耐荷重: 120kg リフトを正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。



MORITOH CORPORATION 株式会社 **モリト** ☎0120-65-2525
最新情報は、ホームページをご覧ください。

注意	BAL50(リチウムイオン電池)専用充電器		
	LED 1~3点灯	90~100%	
	LED 1+2点灯	65~90%	
	LED 1点灯	40~65%	
	LED 1点減	0~40%	
	LED 1~3点減	エラー(要点検)	
LED なし	接続不良		

Ⅱ 使用上のご注意



警告

- ・昇降中はキャスターのロックをフリーにしてください。ご利用者の重心位置が変わると、リフトが前後し、安定を保ちます。リフトのキャスターをロック状態で昇降操作を行うと重心が偏り、転倒して死亡または重傷を負う可能性があります。
- ・Y6セット Li-PINK Safety Roboは120kg以上の方に使用しないでください。耐荷重を超える方に使用すると、リフトの変形、破損の原因となります。
- ・濡れた手で電源プラグを持たないでください。感電のおそれがあります。
- ・スリングのストラップの外れに注意してください。特に作動前にはストラップがしっかり掛かっていることを確認してください。落下事故の原因となります。
- ・リフトの改造や分解はしないでください。機器の破損の原因となります。
- ・人を吊り上げた状態で、長い距離を移動しないでください。長い距離の移動には適していません。リフトが転倒して、けがをえる可能性があります。
- ・被介護者だけで使用しないでください。必ず介護者のついた状態で使用してください。思わぬけがをえるおそれがあります。
- ・段差のあるところでは使用しないでください。リフトが転倒して死亡または重傷を負う可能性があります。
- ・傾斜のあるところでは使用しないでください。リフトが思わぬ方向に移動し、転倒や衝突により死亡また重傷を負う可能性があります。
- ・リフトをベッドに差し込んだまま、ベッドの高さ調整操作はしないでください。ベッドとハンガーの間に挟まれて死亡または重傷を負う可能性があります。
- ・昇降作業をするときは、リフトの脚部をいっぱいまで開いてください。脚を開かないで使用すると、転倒してけがをえるおそれがあります。
- ・充電コードを重量物ではさんだりしないでください。コードが痛んで感電、焼損、漏電、火災のおそれがあります。
(コードが破損した場合はただちに使用を停止し、交換してください)
- ・充電コードプラグにほこりが付着したままコンセントに差さないでください。ショートにより感電、火災のおそれがあります。
ほこりが付着している場合は乾いた布で拭き取ってください。
- ・スリングは正しく装着してください。ご利用者のバランスが崩れ、身体を圧迫したり、落下して死亡または重傷を負う可能性があります。
スリングの取扱説明書を、必ずお読みいただき、正しくお使いください。
- ・人を吊り上げた状態で、アームやハンガー、モーターを押したり、引いたりして、移動させないでください。リフトが転倒して死亡または重傷を負う可能性があります。
- ・車いすへ着座する際は、車いすはメインフレームに正対させてください。横向きになると車いすが転倒して、死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

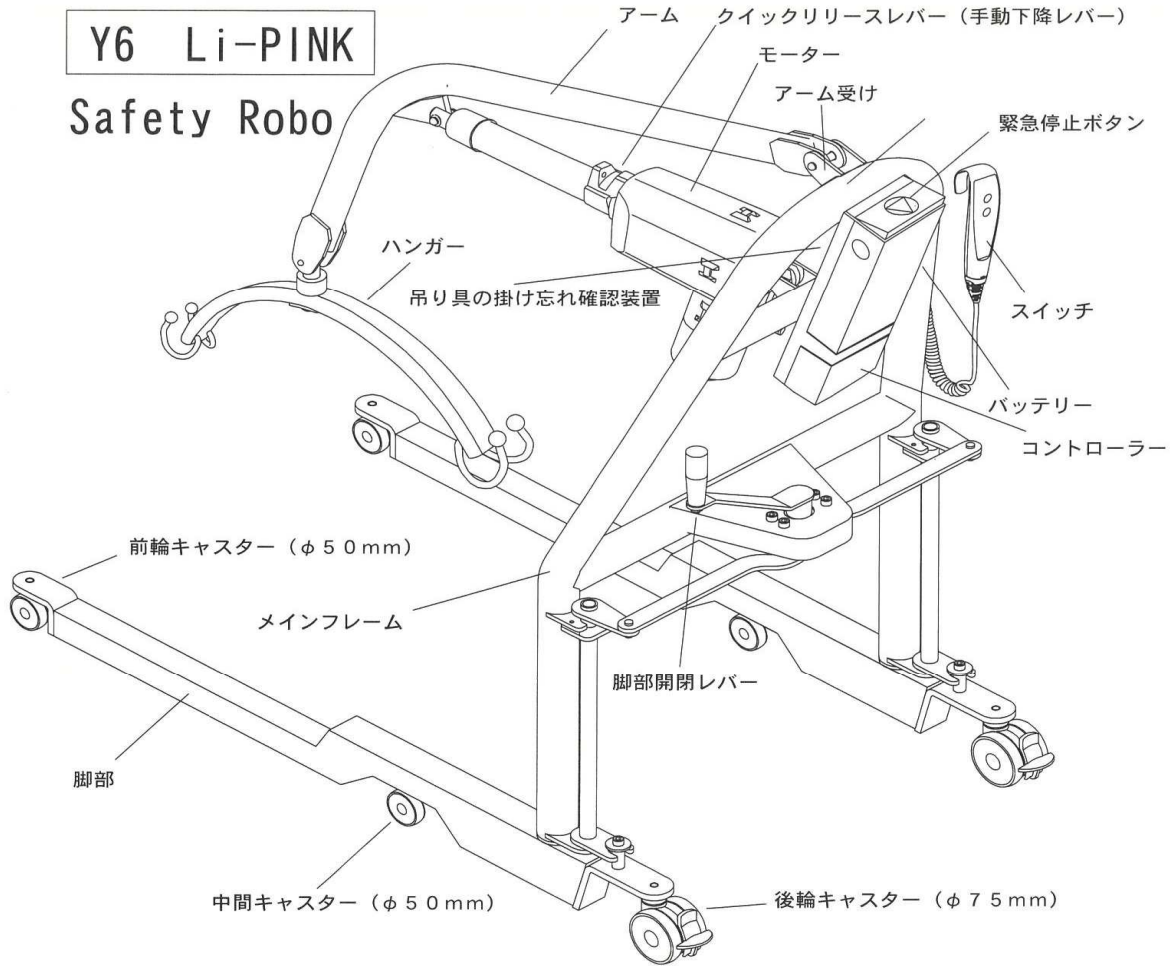
- ・ハンガーに注意してください。特にスリングを着脱するときは、ハンガーを手で支えて操作してください。
- ・ベッド下に障害物がないか確認してください。リフトの脚部が正常に入らなくなるおそれがあります。(ベッドの電源コード、スイッチコード等)

- ・ 障害物に注意してください。移動中のリフトに接触すると、ご利用者が傷害を負ったり、機器が破損、物的被害が発生するおそれがあります。
- ・ 湿気が多い場所（お風呂場など）では使用したり、保管しないでください。
- ・ 可動部のすきまに手や指をはさまないように注意してください。
- ・ 昇降中や移動時は足元に注意してください。キャスターに足等を挟まれて、けがをするおそれがあります。
- ・ お手入れをするときは、緊急停止ボタンを押した状態で行ってください。誤操作により、けがをするおそれがあります。
- ・ 定期的な点検をおすすめしています。
各部のネジ緩み、摩耗、破損、変形がないかなど点検してください。

※一部実際の仕様と異なる場合があります。

III 各部の名称と組立方法

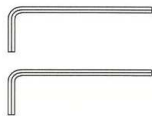
Y6 Li-PINK
Safety Robo



六角レンチ (3 mm)



六角レンチ (4 mm)



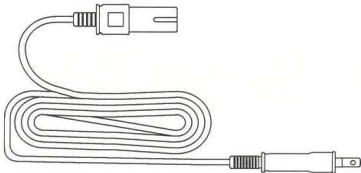
六角レンチ (6 mm)



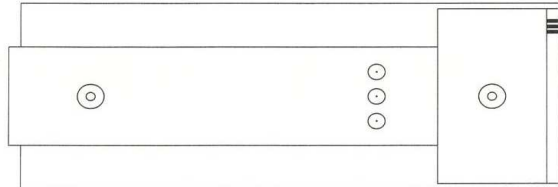
カバーオープナー



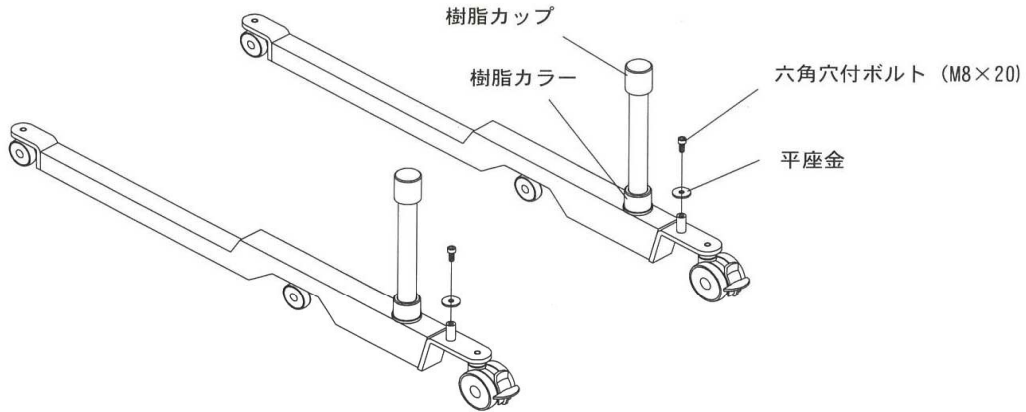
充電コード



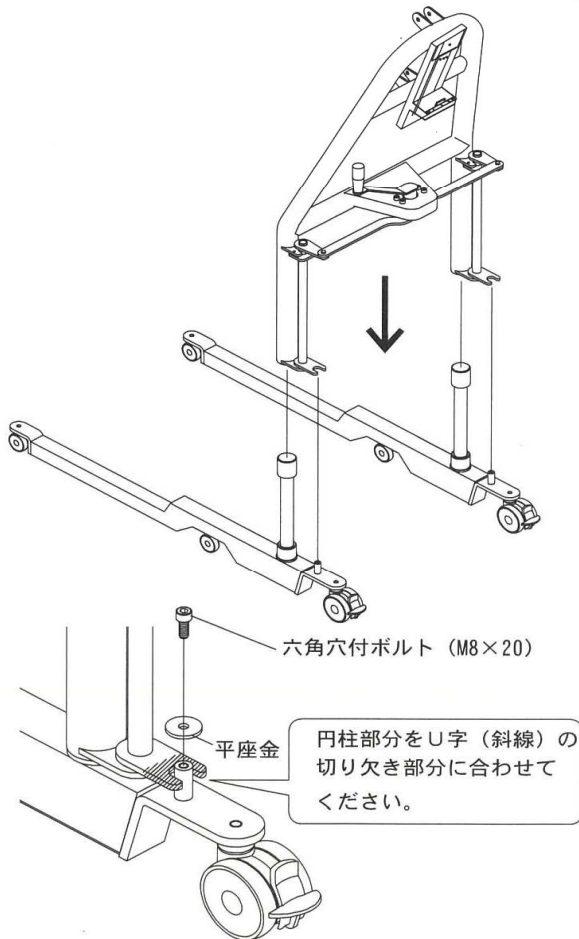
充電器



1. 両脚部の平座金、六角穴付ボルト (M8×20) を六角レンチ (6mm) を使用して外してください。

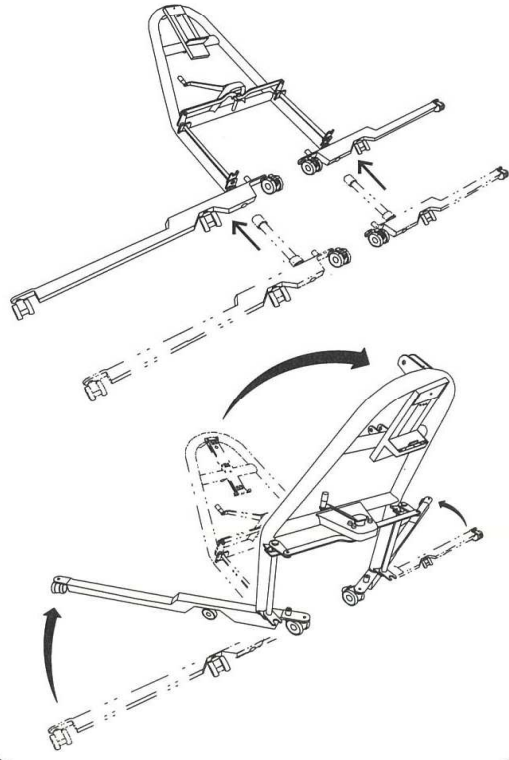


2. メインフレームに脚部を挿入し、1で外した六角穴付ボルト (M8×20) に平座金を入れ、六角レンチ (6mm) を使用して締め付けてください。脚部は左右共通です。



アドバイス

メインフレームを床に寝かした状態で脚部を挿し込み、メインフレームを起こしながら脚部を閉じると組み立てが容易です。起こしてから円柱部分とU字の切り欠き部分を合わせてください。



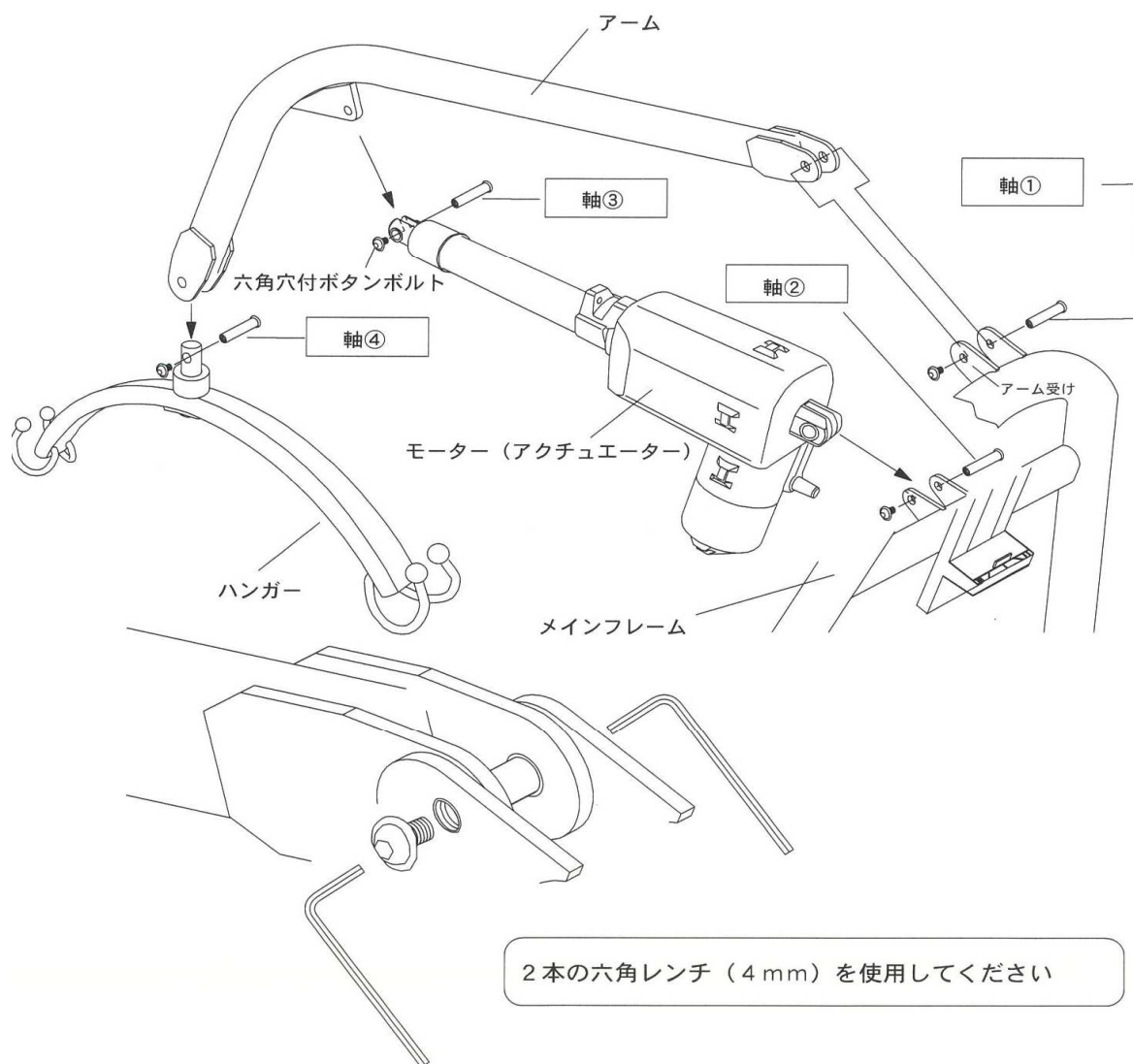
3. アームとモーターをメインフレームに接続してください。

1) メインフレームに付いている軸①を外し、外した軸①を使用してアームを取付けてください。

2) メインフレームに付いている軸②を外し、外した軸②を使用してモーターを取付けてください。

3) アームに付いている軸③を外し、外した軸③を使用してモーターとアームを取付けてください。

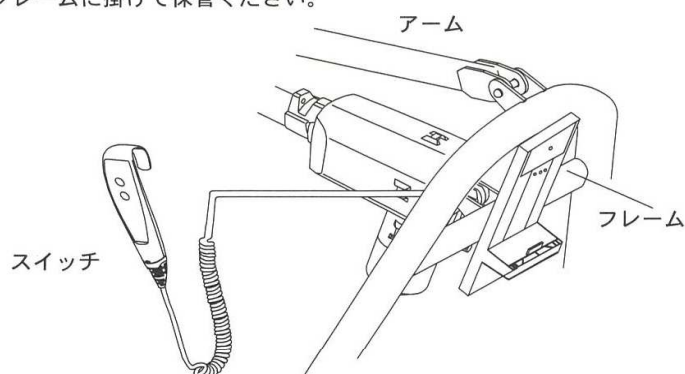
4) ハンガーに付いている軸④を外し、外した軸④を使用してアームとハンガーを取付けてください。



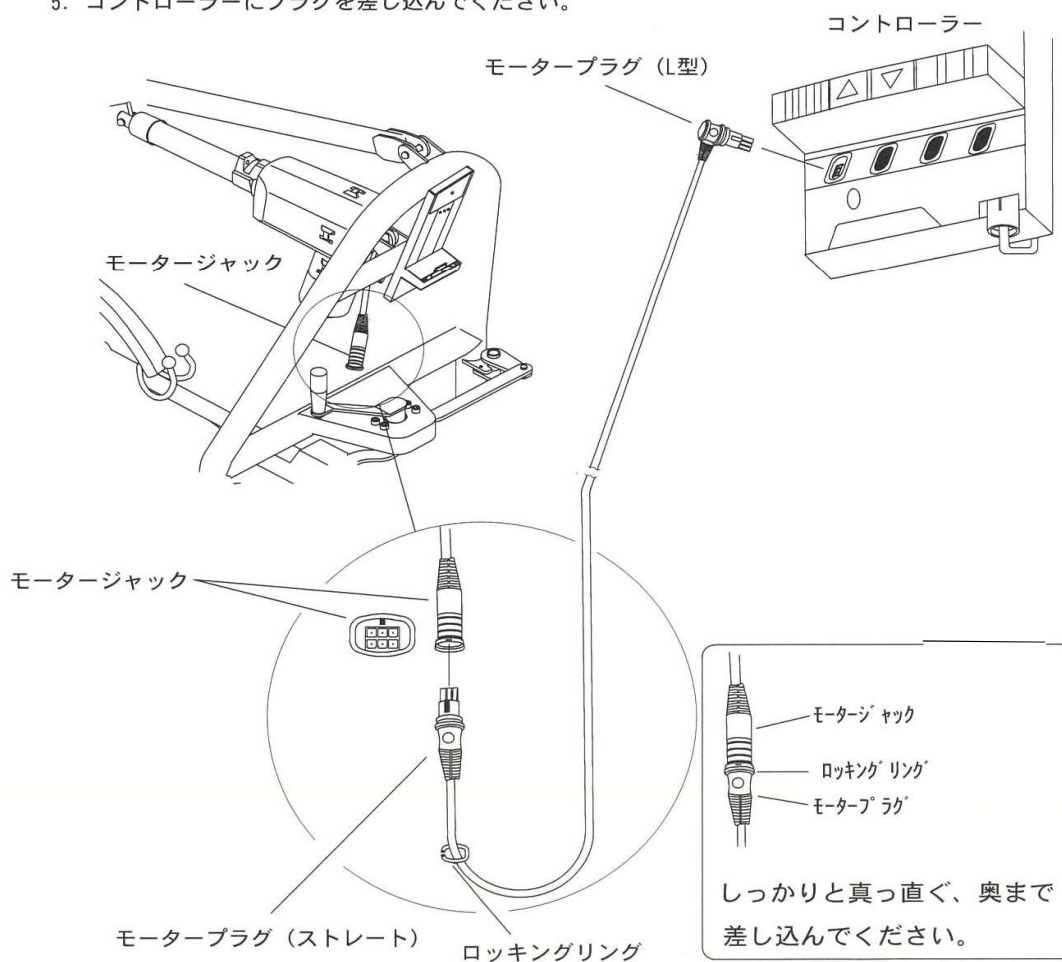
⚠ 注意

※ボルトの締めすぎに注意してください。推奨締付トルク 5.2N・M

4. スイッチは初めから吊り具の掛け忘れ確認装置に接続しています。
アームやフレームに掛けて保管ください。

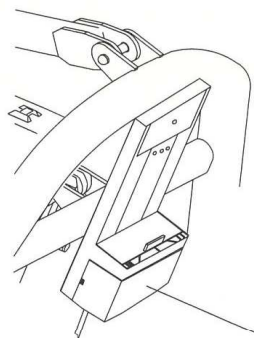


5. コントローラーにプラグを差し込んでください。



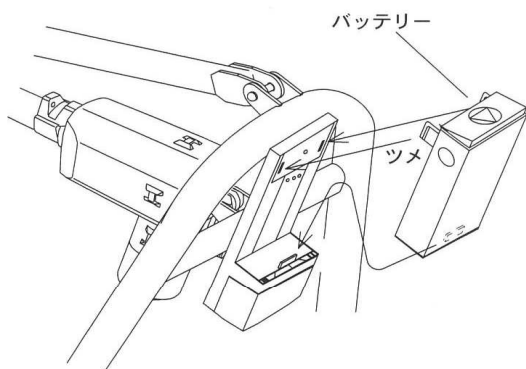
モータージャックにモータープラグ (ストレート) を接続し、ロッキングリングを接続してください。
モータープラグ (L型) をコントローラーのジャックに接続してください。
スイッチのプラグをコントローラーのジャックに接続してください。

6. コントローラーにカバーを固定してください。



コントローラーカバー

7. バッテリーを装着してください。組み立ては以上です。



コントローラーの出っ張りにバッテリー下部の差込口を合わせて、バッテリー上部のツメをコントローラーの二つの溝にはめてください。

8. 組み立ては以上です。

スイッチの上下ボタンを押して正常に作動するか、確認してください。

正常に作動しない場合は、下記項目を確認ください。

①バッテリーの接続を確認

②プラグ（モーター、スイッチ）の差し込みを確認

③緊急停止ボタンが押されていないかを確認

※解除する場合は、バッテリー両側面の○ボタンを押してコントローラーからバッテリーが離れると解除されます。解除されたら、バッテリーをコントローラーに接続しなおしてください。

コントローラーカバーの外し方。



溝にカバーオープナー（マイナスドライバー等）を入れて、ひねってコントローラーカバーを外してください。

⚠ 注意

※軽い力で外れます、押し込み過ぎると傷が付く場合がございますので、布を巻くなどして傷が付かないようにご注意ください。

IV リフトの使用法

●ベッドからの移乗（スリング装着後）

1. ハンガーがご利用者の体幹の真上にくるように、リフト本体を移動してください。
（リフトの脚部をベッド下に入れます）

ハンガーがご利用者に対して、左右均等であることを確認ください。

2. あらかじめ、ベッドの背を上げておいてください。※2
スリングのストラップをフックに掛けます。
ストラップがすべて、フックに掛かっていることを確認のうえ、スイッチのUP（上昇）ボタンを押して、ご利用者の臀部がベッドから離れる程度までリフトを上昇させてください。
（肩や太ももにシワがあるときは伸ばしてください）

※1 昇降中はキャスターをロックしないでください。

※2 背上げ機能ベッドをお使いの場合は、ベッドの背を上げてください。
（ご利用者の身体状況やスリングにより、操作方法が異なります）

3. ご利用者のからだを支えて、アームの方を向くように回転させます。
リフトのフレームを持ち、リフトをベッドからゆっくり引き出します。
（勢いよく引くとご利用者が大きく揺れるおそれがあります）

●ベッドへの移乗

1. リフトのフレームを押し、ご利用者をベッドに降りる位置へ合わせて移動させます。

2. あらかじめ、ベッドの背を上げておいてください。※2
スイッチのDOWN（下降）ボタンを押して、ご利用者をベッドに降ろしていきいます。体重がスリングに掛からなくなり、ストラップが十分ゆるむまでハンガーを下げてください。

※1 昇降中はキャスターをロックしないでください。

※2 背上げ機能ベッドをお使いの場合は、ベッドの背を上げてください。
（ご利用者の身体状況やスリングにより、操作方法が異なります）

3. スリングのストラップをフックから外します。

●床からの移乗（スリング装着後）

1. ご利用者の頭や首を保護するため、頭部下に枕を入れてください。
2. リフトをご利用者の近くに移動します。
3. スwitchのDOWN（下降）ボタンを押して、スリングのストラップが掛けられる高さまでハンガーを降ろします。
ハンガーがご利用者に当たらないように気をつけてください。
4. スリングのストラップをフックに掛けます。
すべてのストラップが掛かっていることを確認のうえ、スイッチのUP（上昇）ボタンを押して、ご利用者を起こしていきいます。

※ご利用者の向きは、頭がリフト側でも足がリフト側でも使用できます。

●床への移乗

1. ご利用者を降ろす場所に枕を置きます。
2. スwitchのDOWN（下降）ボタンを押して、ご利用者の体重がスリングに掛からなくなり、ストラップが十分にゆるむまでハンガーを降ろしてください。
3. スリングのストラップをフックから外します。

※昇降中はキャスターをロックしないでください。

※ご利用者の向きは、頭がリフト側でも足がリフト側でも両方向使用できます。

V 電装品の使い方

1. スイッチの使い方

図 1

- ①スイッチでアームの上昇下降の操作を行います
- ②スイッチのボタンから手を離すと停止します



図 1

2. コントローラーの使い方

名称：

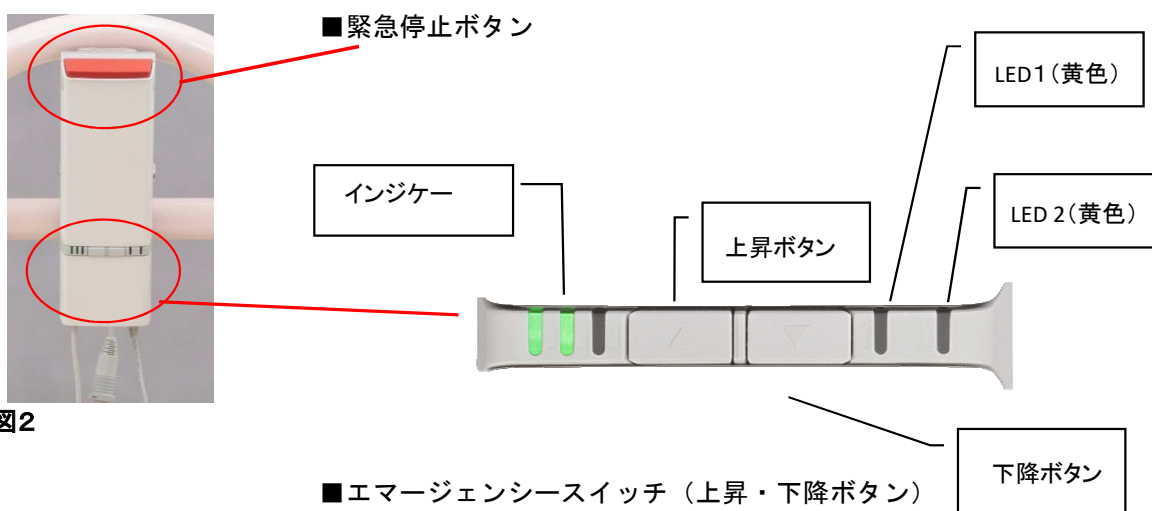


図2

- ①使用前にバッテリーの残量を確認してください。図3を参照ください。

- ②操作中の誤作動を防止するため、または非常時に動作を停止したい場合はバッテリー上部の緊急停止ボタン(赤色)を押してください。図2を参照ください。

※機能を復帰するにはバッテリー両端の丸ボタンを押すとバッテリーが外れ解除します。使用するには、バッテリーを再度取り付けてください。

- ③スイッチの故障時にはエマージェンシースイッチ、上昇ボタン、下降ボタンを押してアームを上下動してください。

図3

インジケータ	LEDの状態	残量目安
	3本点灯	75~100%
	2本点灯	50~75%
	1本点灯	50%未満
	1本黄色点滅	微量 ただちに 要充電

LED1(黄色)+LED2(黄色)の表示説明

正常時、LEDは消灯しています。点灯及び点滅時の状態と対応については図4を参照ください。

図4

LED1+2	LEDの状態と動作	対応
	LED1点滅 動作不可	点滅解消 まで待機
	LED1+2点灯	緊急停止 ボタン 解除
	LED1+LED2 点滅(速) 動作不可	要点検
	LED1+LED2 交互点滅(遅) 動作不可	要点検

LED1+2	LEDの状態と動作	対応
	LED2点滅(遅) 一時動作不可	障害物に干渉して いないか確認
	LED1点滅(遅) 一時動作不可	点滅解消 まで待機
	LED2点灯 動作可	消灯するま で、モーター を縮める
	LED1点灯・動作可	要点検

3. 充電器について

名称:



●充電方法

充電器に下記写真のようにバッテリーを接続してください、電源プラグをコンセントに接続してください。



●充電目安時間:4時間
(消耗により異なります)

●バッテリーの交換
バッテリーケースのまま交換します。面倒な配線作業はございません。
※お買い上げいただいた販売店までお問い合わせください。

●インジケータ-の表示について

インジケータ-	LEDの状態	充電状態
	3本点灯	90~100%
	2本点灯 1本点滅	65~90%
	1本点灯 1本点滅	40~65%
	1本点滅	0~40%
	3本点滅	エラー (要点検)
	3本消灯	接続不良

3. モーターについて

●クイックリリース(手動下降装置)

手動下降装置「クイックリリース」は電源トラブルやスイッチの故障など、ご利用者をすぐに安全な場所へ降ろしたい時に使用します。レバー(赤)を矢印の方向に引っ張っている間、ご利用者を降下することができます。(図5)

※ご利用者を吊り上げていない場合など、アームに荷重が掛かっていない状態では、手動下降装置は働きません。

図5



VI 吊り具の掛け忘れ確認装置（音声ガイド）

吊り具の掛け忘れ確認装置は、センサー、制御系、駆動系の要素を有する機械システムです。

吊り上げ時、約20kgの重さを感じるとリフトが一旦止まり、安全確認のための音声ガイドが流れます。確認後、上昇ボタンを押すことで再度上昇を開始します。

モーターを最大まで上げた際も、下降時に一旦リフトが止まり、音声ガイドが流れます。吊り具の掛け忘れ、掛け間違いを自動で修正するものではありません。



吊り具の掛け忘れ確認装置

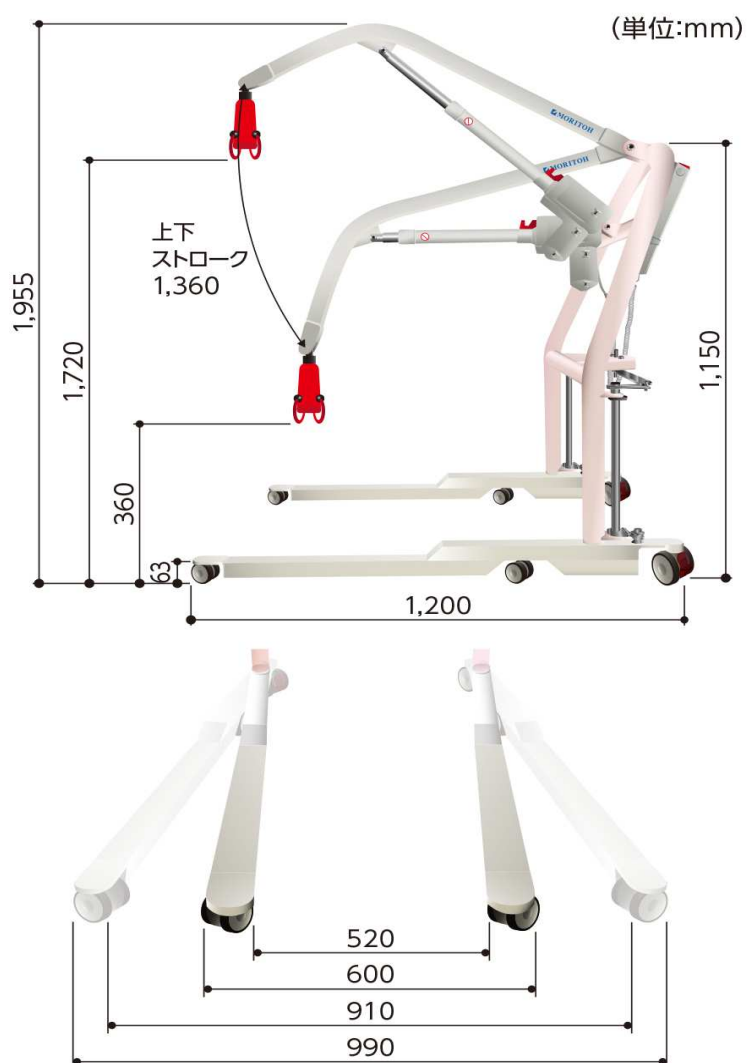
音声調整について

- ① 音声調整つまみを時計回りに回していくと音声が大きくなります
- ② 保管時又は音声を消したい場合は、音声調整つまみを反時計回りに回して、OFFにしてください

※バッテリーの消費を減らすために使用しない時は、つまみをOFFに合わせてください

※体重約20kg以下の方でも、リフトはご使用いただけますが、音声ガイドは機能しません

Ⅶ 仕様



■搭載機能

緊急停止ボタン/挟み込み防止/クイックリリース/バッテリー残量表示/エマージェンシースイッチ

昇降速度 上昇	36.3mm/sec
昇降速度 下降	37.2mm/sec
耐荷重	120kg
上下ストローク	約1,360mm
吊上げ高さ (最高)	床より1,720mm
(最低)	床より 360mm
体重計装着時 (最高)	床より1,560mm
(最低)	床より 200mm
材質	スチール

■リチウム電池仕様

型式	BAL50
出力電源	25.2VDC
入力電源	29.4V
防水性能	IPX6
重量	0.9kg

VII 困ったときは

「介護リフトつるべ」をご使用の際、不具合が生じた場合、下記の手順で対処いただき、改善させない場合は、販売店またはメーカーまでご連絡ください。

症状	対処方法
リフトが上昇・下降しない	1. モーターのプラグがしっかり差し込まれているか確認ください 2. 動かない場合は、コントローラーの上下ボタン又はクリックリリースを使用し、ご利用者を安全な場所に移動してください ※ V 電装品の使い方をご参照ください 3. 移動後は使用をやめ、販売店か弊社に連絡してください その他 ①緊急停止ボタンが押しこまれていませんか ⇒バッテリー両端の丸ボタンを押すとバッテリーが外れ解除します 使用するには、バッテリーを再度取り付けてください ②バッテリーの寿命になっていませんか ⇒バッテリーを交換してください
モーターに異常な金属音や振動がある	使用をやめ、破損の有無を確認ください 販売店か弊社に連絡し、症状をお伝えください

VIII 日常のお手入れと保管上の注意



警告 電装品（モーター・コントローラー・スイッチ）に水をかけて掃除をしないでください。

●洗浄方法

- ①水で薄めた中性洗剤をひたした布で拭いてください。
- ②乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

●消毒について

0. 0.5%グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテンなど）の水溶液



注意 シンナー、ベンジン、ガソリンなどは使用しないでください。変色・変質させるおそれがあります。

●保管について



注意 平らで安全な場所へ置いてください。直射日光の当たる場所や高温になる場所には置かないでください。

Ⅸ 定期点検

- 介護リフトを安全に使用いただくため、1年に1回の定期点検をお勧めしています。
コントローラーのLED1または2が点灯または点滅が表示されたら（V 電装品の
使い方 2 コントローラーの使い方 P16）を参照の上、点検ください。

リフト本体	アーム	損傷、変形がないこと
	ハンガー	損傷、変形がないこと
	各部のボルト	Ⅲ 各部の名称と組み立て方法を参照 各部ボルトのゆるみがないこと
	脚部開閉レバー	正常な動作ができること 著しいがたつきがないこと
	メインフレーム・脚部	損傷、変形がないこと
	ラベル	剥がれや文字が見えにくくなっていないこと
電装品	スイッチ	正常にアームが上下動すること
	モーター	動作時に異音、著しい振動がないこと
	コントローラー	LED1+2が点灯または点滅していないこと
	エマージェンシースイッチ	上昇、下降ボタンが正常に作動すること
	緊急停止ボタン	押されているとき、上下動しないこと
	ラベル	剥がれや文字が見えにくくなっていないこと
キャスター	前輪	破損、変形がないこと
	中間輪	走行時、がたつきがないこと
	後輪	後輪のロックが操作ができること

- 定期点検を行い、異常がないことを確認の上、ご使用ください。
異常が見られた場合や不明な点がございましたら、ご購入いただいた販売店または弊社に
連絡し、症状等をお知らせください。